

歯科衛生学科

シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
1年	10	法律入門
1年	15	情報処理
1年	32	歯内療法学
1年	34～35	歯科予防処置法
1年	42	感染予防法
1年	43	臨地実習Ⅰ（臨床基礎）
2年	51	英語Ⅰ
2年	57	歯周療法学
2年	58	歯科補綴学
2年	63	障害者口腔保健学
2年	64	歯科放射線学
2年	66～67	歯周病予防法（臨床基礎）
2年	73	臨床検査法
3年	87	スポーツレクリエーション
3年	92～93	歯周病予防法（臨床応用）
3年	94～95	保健指導演習Ⅲ（臨床総合）
3年	96	口腔リハビリテーション演習
3年	99	救急法・救急蘇生法
3年	103	臨地実習指導（臨床総合）
3年	104	歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング				
	●					C0-0-HSO-04				
科目名	法律入門				単位 認定者	鈴木 一樹		評価の 方法	試験(筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	15 時間			
					授業形態	講義	授業回数			
授業の概要	社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。									
到達目標	社会問題を考える際の土台となる法律の基本的な用語や概念を理解し、説明できる。身近な法律問題の学習を通じて、自ら問題を解決するための思考方法を養う。									
学修者への 期待等	聞き慣れない用語や概念が多いと思いますので、復習を中心に取り組んで下さい。 法律用語と日常用語の違い、授業内で扱った事例や問題は、重点的に復習すること。その際、結論だけでなく理由も説明できるようにしておくこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	法律の意味と法律を学ぶ意味					法律に関するイメージを自分なりに持っておくこと（30分程度）				
2	憲法（1）基本的人権					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
3	憲法（2）統治機構					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
4	民法（1）総則・物権					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
5	民法（2）債権					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
6	民法（3）親族・相続					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
7	刑法（1）総論					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
8	刑法（2）各論					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
教科書	特に指定しない。必要に応じてレジュメや資料を配布する。									
参考文献	適宜講義内で紹介する。									
備考	講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。講義内容は、進度に応じて変更する場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

公認会計士として上場企業などの法定監査、税理士として税務業務に従事。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-02				
	●									
科目名	歯内療法学				単位 認定者	庄司 佳奈子 武山 真奈美		評価 の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		20 時間	
							授業回数		10 回	
授業の概要	歯内療法学とは、歯の硬組織、歯髄腔内、根尖周囲組織の疾病や傷害に対する診断、予防、治療に関する研究を行う臨床歯学の一分野である。本科目では、歯と歯髄の疾患の治療法、最新の機器、材料、薬剤の特徴や使用方法についてその基礎を学ぶ。さらに、歯内療法に関する診療補助の基礎知識を修得する。									
到達目標	歯内療法学の基礎を学び、歯内療法に関する診療補助の能力を修得する。									
学修者への 期待等	歯内療法の対象となる患者の訴えの多くは歯の痛みであり、それを理解することが重要である。そのため歯内疾患の症状や治療法の概要をしっかりと把握しておくことが大事である。また歯内療法には多くの治療用器材・器具が必要となり、その名称や形状の特徴を理解することがスムーズな診療補助に繋がるので、しっかりと講義を聴くこと。									
回	授業計画					準備学修			担当	
1	歯内療法の概要（歯の痛みに関する基礎知識と歯内疾患の分類について概要を学ぶ）					教科書Ⅲ編第1章 歯内療法の概要を読み、象牙質知覚過敏症・歯髄疾患・根尖性歯周疾患の原因・症状・処置について理解しましょう。（概ね30分）			庄司佳奈子	
2	歯髄保存療法（歯髄鎮静療法、覆髄法、ラバーダム防湿法について学ぶ）					教科書Ⅲ編第2章 歯髄保存療法を読み、各治療法のイラストをよく見比べておきましょう。（概ね30分）			庄司佳奈子	
3	歯髄除去療法（生活歯髄切断法（生活断髄法）、直接抜髄法（麻酔抜髄法）について学ぶ）					教科書Ⅲ編第3章 歯髄の除去療法を読み、イラストで術式を把握しておきましょう。（概ね30分）			庄司佳奈子	
4	根管治療・根管充填①（根管治療の概念、根管治療の術式について学ぶ）					教科書Ⅲ編第4章 根管治療・根管充填を読み、根管治療の流れについて理解しましょう。（概ね30分）			庄司佳奈子	
5	根管治療・根管充填②（根管長測定、根管の拡大形成、根管の化学的清掃、根管消毒、仮封、根管充填について学ぶ）					教科書Ⅲ編第4章 根管治療・根管充填を読み、リーマー・ファイルのISO規格・側方加圧充填法の術式を覚えましょう。（概ね30分）			庄司佳奈子	
6	外科的歯内療法（外科的歯内療法の種類・術式）について学ぶ）					教科書Ⅲ編第5章 外科的歯内療法を読み、各治療法のイラストをよく見比べておきましょう。（概ね30分）			庄司佳奈子	
7	歯の外傷（歯の外傷の分類と処置、脱離歯の保存法）、歯内療法における安全対策（歯内療法時の偶発事故、対処法と予防法）について学ぶ					教科書Ⅲ編第6章 歯の外傷および第7章 歯内療法における安全対策を読み、完全脱臼した歯の保存法と皮下気腫の原因・対処法について理解しましょう。（概ね30分）			庄司佳奈子	
8	歯内療法治療時の歯科診療補助について①（根管治療）／基礎知識・基礎演習					『歯科診療補助論』Ⅰ編4章②歯内療法時の診療補助P125～128、『歯科機器』4章⑧-歯内療法用機器を読み授業に臨むこと。（概ね30分）			武山真奈美	
9	歯内療法治療時の歯科診療補助について②（根管充填）／基礎知識・基礎演習（ブローチ綿花作製・根管充填材の練和）					『歯科診療補助論』Ⅰ編4章②歯内療法時の診療補助P129～132を読み授業に臨むこと。また、シラバス8回の授業資料および実習記録を確認しておくこと。（概ね30分）			武山真奈美 西條 佳奈	
10	歯内療法時の歯科診療時補助について③／器材の取り扱い演習／歯内療法処置における患者説明と指導					『保存修復学・歯内療法学』Ⅲ編歯内療法 第8章歯内療法における歯科衛生士の役割を読み授業に臨むこと。また、シラバス8、9回の授業資料および実習記録を確認しておくこと。（概ね30分）			武山真奈美 西條 佳奈	
教科書	『歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科機器』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献										
備考	レポート課題を出す場合は、採点后、授業にて総括する。 8～10回は2クラスに分かれて実習室で講義・演習を行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング DH-2-DHP-01				
	●									
科目名	歯科予防処置法				単位 認定者	武山 真奈美		評価 の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		授業内課題	10 %
						授業時間数	60 時間		受講態度	10 %
					授業形態	演習	授業回数		30 回	
授業の概要	口腔疾患を予防し、歯と口腔の健康を維持・増進させるためにう蝕と歯周病の原因を理解し、う蝕予防法と歯周病予防法の基本的な知識・技術および態度を修得する。また、健康像と病的変化を把握し、口腔観察の基本を学ぶ。その手技として各検査法、予防的歯石除去法の基礎知識を学び、それに用いる器具・器材の使用法と手技を理解する。									
到達目標	①歯周病予防法の基礎知識を理解し、基礎的な技術を修得する。 ②う蝕の原因とその予防法を理解しその技術を修得する。									
学修者への 期待等	1.身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2.欠席・欠課をしないよう意欲的臨んでほしい。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	歯科予防処置の概要(予防の概念)／ 口腔の基礎知識				教科書Ⅰ編1章P2～5「歯科予防処置の概要・定義・位置づけ」、⑤-予防の概念、Ⅱ編1章①-口腔・口腔周囲の構造、②-歯周組織を読み授業に臨むこと。(30分程度)				武山 真奈美	
2	口腔内の付着物・沈着物／歯周病の基礎知識				教科書Ⅱ編2章①-口腔内の付着物・沈着物、③-歯周病を読み授業に臨むこと。(45分程度)				武山 真奈美	
3	口腔内の情報収集 基礎演習① エクスプローラーの基本操作／ミラーテクニック ／マネキンの取り扱い／術者・患者のポジション				教科書Ⅲ編2章⑥-2.検査項目 6) 歯面の付着物・沈着物P139～140、P142～144のエクスプローラー、Ⅲ編3章①-1.(2)ポジションP187～188、3.ミラーテクニックP220～222を読み授業に臨むこと。また、シラバス2回目の内容を復習しておくこと。(45分程度)				武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
4	口腔内の情報収集 基礎演習② エクスプローラーの基本操作 マネキン演習／ 歯周ポケット検査の基礎知識・基礎演習				教科書Ⅲ編2章⑥-2.検査項目 7) 歯周ポケット 8) 歯の動揺度P144～150を読み授業に臨むこと。また、シラバス2、3回目の内容を復習しておくこと。(45分程度)				武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
5	口腔内の情報収集 基礎演習③ エクスプローラー・歯周プローブの基本操作 マ ネキン演習／相互演習の手順・留意事項説明				シラバス2～4回目の内容を復習しておくこと。 (30分程度)				武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
6	口腔内の情報収集 相互演習① 患者1人目 ※上下術者交代				シラバス2～5回目の内容を復習をしておくこと。 (30分程度)				武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
7	口腔内の情報収集 相互演習② 患者2人目 ※上下術者交代								武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
8	口腔内の情報収集 相互演習③ 患者3人目 ※上下術者交代								武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
9	スケーリングの基礎知識／基礎演習				教科書Ⅲ編3章①-1.手用スケーラーP185～192を読み 授業に臨むこと。(45分程度)				武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
10	シッケル型スケーラーの基本操作 マネキン演習① 部位別操作(上下顎前歯部)				教科書Ⅲ編3章①-1.手用スケーラーP196～197「下顎前 歯部・上顎前歯部」を読み授業に臨むこと。また、シラバ ス9回目の内容を復習をしておくこと。(30分程度)				武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
11	シッケル型スケーラーの基本操作 マネキン演習② 部位別操作(下顎臼歯部)				教科書Ⅲ編3章①-1.手用スケーラーP198～199「下顎右 側臼歯部・下顎左側臼歯部」を読み授業に臨むこと。ま た、シラバス9回目の内容を復習をしておくこと。(30分程 度)				武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
12	シッケル型スケーラーの基本操作 マネキン演習③ 部位別操作(上顎臼歯部)				教科書Ⅲ編3章①-1.手用スケーラーP200～201「上顎右 側臼歯部・上顎左側臼歯部」を読み授業に臨むこと。ま た、シラバス9回目の内容を復習をしておくこと。(30分程 度)				武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
13	シッケル型スケーラーの基本操作 相互演習① 患者1人目 ※上下術者交代				シラバス9～12回目までの内容を復習をしておくこと。 (30分程度)				武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
14	シッケル型スケーラーの基本操作 相互演習② 患者2人目 ※上下術者交代								武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	
15	シッケル型スケーラーの基本操作 相互演習③ 患者3人目 ※上下術者交代								武山 真奈美 三浦 悦子 矢戸 敦子	

回	授業計画	準備学修	担当
16	歯面研磨(ポリッシング)の基礎知識／マネキン演習	教科書Ⅲ編3章②-1.歯面研磨(ポリッシング)P222～227についてを読み授業に臨むこと。(45分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
17	歯面研磨(ポリッシング)、シッケル型スケーラーの基本操作、歯周プローブの基本操作 マネキン演習	シラバス3～16回目までの内容を復習をしておくこと。(30分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
18	口腔内の情報収集(プロービング) 相互演習① 患者1人目 ※上下術者交代	シラバス3～17回目までの内容を復習をしておくこと。(30分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
19	口腔内の情報収集(プロービング) 相互演習② 患者2人目 ※上下術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子
20	口腔内の情報収集(プロービング) 相互演習③ 患者3人目 ※上下術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子
21	歯石除去 相互演習① (スケーリング、歯面研磨) 上下顎前歯部 患者1人目 ※上下術者交代	シラバス3～20回目までの内容を復習をしておくこと。(30分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
22	歯石除去 相互演習② (スケーリング、歯面研磨) 上下顎前歯部 患者2人目 ※上下術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
23	歯石除去 相互演習③ (スケーリング、歯面研磨) 上下顎前歯部 患者3人目 ※上下術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
24	歯石除去 相互演習④ (スケーリング、歯面研磨) 上下顎臼歯部 患者1人目 ※左右術者交代	シラバス3～23回目までの内容を復習をしておくこと。(30分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
25	歯石除去 相互演習⑤ (スケーリング、歯面研磨) 上下顎臼歯部 患者2人目 ※左右術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
26	歯石除去 相互演習⑥ (スケーリング、歯面研磨) 上下顎臼歯部 患者3人目 ※左右術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
27	パワー(機械的)スケーラーの基礎知識／マネキン演習	教科書Ⅲ編3章①-2.パワー(機械的)スケーラーP209～218を読み授業に臨むこと。(45分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
28	パワー(機械的)スケーラー 相互演習① 相互演習の手順・留意事項説明 患者1人目	シラバス27回目の内容を復習をしておくこと。(30分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
29	パワー(機械的)スケーラー 相互実習② 患者2人目		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
30	パワー(機械的)スケーラー 相互実習③ 患者3人目		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
参考文献	『歯科衛生学シリーズ 歯周病学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
備考	1、2回は合同授業を教室で行う。3回は2クラスに分かれて教室で演習を行う。 4～30回は2クラスに分かれて実習室で講義・演習を行う。28、29回は連続で演習を行う。なお、授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。授業内課題については、提出内容の添削後にフィードバックを行う。		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
歯科診療所で勤務経験のある教員が、う蝕および歯周病予防法について基礎知識と技術を指導する。

						科目ナンバリング	
						DH-2-DHP-16	
学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力		
	●	●					
科目名	感染予防法				単位 認定者	花 洸 静	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位
						授業時間数	20 時間
				授業形態	講義	授業回数	10 回
授業の概要	歯科医療行為の多くは外科的な治療と位置づけられ、歯科医療従事者の感染リスクは低くない。加えて医療の高度化に伴う易感染性宿主の増加や進行ないし再興感染症の拡大等から、歯科医療の現場でも十分な感染予防対策をとる必要に迫られている。感染が起こる原因の理解と感染予防対策の具体的方法について学び、臨床の場で実践できる能力を修得する。						
到達目標	感染症に関わる予防法について理解し、臨床の場で実践できる能力を修得する。						
学修者への期待等	感染に対する理解は、自分自身を感染から守るだけでなく、病院あるいは診療所において、患者に感染を生じさせないことにつながっている。したがって、臨床の現場で、どこに感染の危険性が潜んでいるのか、常に感染対策に関するリスク管理が必要である。欠席しないこと。授業中は私語を慎むこと。						
回	授業計画			準備学修			担当
1	感染予防対策の基本的事項			Ⅰ 患者主体の感染予防対策・Ⅱ 感染予防対策の基本(教科書P2～17)を読み授業に臨んでください。(30分程度)			花 洸 静
2	歯科医療における滅菌・消毒・洗浄			Ⅲ 歯科医療における滅菌・消毒・洗浄(教科書P18～P37)を読み授業に臨んでください。(30分程度)			花 洸 静
3	歯科医院における感染予防対策			Ⅳ 歯科医院における感染予防対策(教科書P38～P50)を読み授業に臨んでください。(30分程度)			花 洸 静
4	歯科医院における感染予防対策の実際／感染性廃棄物の取り扱い			Ⅴ－①② 歯科医院における感染予防対策の実際(教科書P52～P82)、Ⅴ－④ 感染性廃棄物の分別・保管・運搬処理(教科書P105～107)授業に臨んでください。(40分程度)			花 洸 静
5	手指衛生、個人防護具(PPE)			シラバス4回目の授業内容を復習し、実践的に演習に取り組めるように準備しておいてください。(30分程度)			花 洸 静 西 條 佳 奈
6	手指衛生の実践 個人防護具(PPE)着脱演習						花 洸 静 西 條 佳 奈
7	歯科医療従事者の健康管理			教科書P108 表1医療従事者の免疫を参照し自分のワクチン接種状況を調べておいてください。(30分程度)			花 洸 静
8	歯科医療従事者のリスクマネジメント			Ⅵ 歯科医療従事者の感染予防対策(教科書P108～121)を読み授業に臨んでください。(30分程度)			花 洸 静
9	医療安全			歯科診療補助論教科書「Ⅰ 編 2章 医療安全と感染予防」を読み授業に臨んでください。(30分程度)			花 洸 静
10	歯科医療におけるKYT訓練 グループワーク			今までの授業の復習をして来てください。また、臨床実習先での感染対策に関する自分が感じた疑問点などまとめてきてください。(30分程度)			花 洸 静
教科書	『歯科医療における国際標準 感染予防対策テキスト』 ICHG研究会編、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社						
参考文献							
備考	1・2・3・4・7・8・9・10回は、2クラス合同講義 5・6回は連続で2クラスに分かれて8階実習室で授業を行う。						

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-CLT-01				
	●	●	●							
科目名	臨地実習Ⅰ（臨床基礎）				単位認定者	伊藤恵美 佐藤陽子 大宮由布子 花渕静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香		評価の方法	実習状況	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	4 単位			
				授業形態	実習	授業時間数	180 時間			
						授業回数	集中			
授業の概要	本科目は、医療機関で行う臨床実習と、教育機関で行う臨地実習からなる。前期に行う医療機関での見学実習では、歯科診療の業務内容、及び歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割を理解し、歯科衛生士としての心構えを身につける。後期に行う臨床実習では、学内で既修の知識、技術、態度を具体的、かつ、实际的に理解し、歯科衛生士としての役割を把握する。また、教育機関で行う臨地実習を通して、ライフステージに合わせた歯科保健指導について学ぶ。歯科衛生士として基本的な知識、技能及び態度を身につけ、今後の学修目標を明確にする。									
学修者への期待等	1) 臨床現場における歯科衛生士の業務を見学することで将来の自分の歯科衛生士像をイメージしてください。 2) 学内で学んだ知識、技術を具体的かつ実践的に実施してください。									
授業計画										
1. 実習期間 1) 歯科診療所見学実習:6月(2日間) 2) 歯科診療所臨床実習:1月～2月(20日間) 3) 小学校実習(1年生・3年生の合同実習):1日間 2. 実習の目標 医療人としての人間性や倫理観、コミュニケーション能力を習得するために、現場における歯科衛生士の役割を理解し、口腔保健を担う専門職としての知識・技術・態度を身につける。 1) 歯科診療所見学実習 (1) 歯科診療所における歯科診療の流れを理解する。 (2) 歯科診療所における歯科衛生士の仕事内容を理解する。 2) 歯科診療所臨床実習 (1) 歯科診療の流れを理解し、それに必要な診療介助の方法を理解する。 (2) 歯科衛生士が歯科診療所で行う歯科診療補助、歯科予防処置歯科保健指導の内容を理解する。 (3) 1年次に学内で学んだ知識、技術を臨床現場で実施することにより自己の学修成果を確認する。 3) 集団歯科保健指導実習(小学校) 小学校における健康教育を実施するにあたり、歯科保健指導の具体的な方法を学ぶ。 (1) 対象学年に合わせた歯科保健指導計画の立案ができる。 (2) 指導計画に添って教材・教具を活用し指導ができる。 (3) 対象学年の児童に対してわかりやすい言葉、にこやかな表情で話を展開できる。 (4) 歯科保健指導において、動画教材を用いた指導方法を実践できる。 3. 実習計画 1) 歯科診療所見学実習 実習項目) ・診療室内の環境整備 ・患者誘導 ・各症例の見学(患者来院～治療終了後まで) 2) 歯科診療所臨床実習 実習項目) ・診療室内の環境整備 ・患者誘導 ・使用器具・器材・材料の準備・後片付け ・診療介助(バキューム/ライティング/器具・器材の受け渡し) ・各種検査記録(歯式、歯周検査、O'Leary) ・印象採得介助(印象材練和) ・各種セメントの取り扱い 3) 集団歯科保健指導実習(小学校) 実習項目) ・集団歯科保健指導における各学年に合わせた歯科保健指導案の作成 ・各学年に合わせた歯科保健指導の実施										
教科書	1年次で、専門展開科目で使用する各教科書									
参考文献	特になし									
備考	実習終了後に、実習報告会を実施する。この報告会で実習の振り返りを行い、実習評価について総括する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-02				
	●									
科目名	英語 I				単位 認定者	近江 貞子		評価の方法	試験（筆記）	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	日常生活や専攻分野の仕事・職場で頻繁に用いられる基本表現を「話し」・「聞く」ことができる力を養い、基礎的な英語コミュニケーション能力を修得する。									
到達目標	学生は当該専門職として必要となる基礎的な英会話と一般的なトピックについて英会話ができるようになる。									
学修者への期待等	英語コミュニケーションは受け身の学修姿勢では成立しないため、履修生の積極的な参加を期待する。ノート、辞書を必ず持参すること。（辞書がない学生は英和辞書のアプリをダウンロードしておくこと。）授業では音読を始め、ペアワークで英語を話す時間を設けるが大きな声で発音するようにお願いしたい。									
回	授業計画				準備学修					
1	1:初診患者対応のための会話練習、解説 /Getting Acquainted-会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
2	2:問診票記入について患者に説明するための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
3	3:アポイントメントの取り方のための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
4	4:様々な治療について説明するための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
5	5:患者の既往歴について尋ねるための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
6	6:患者の症状を尋ねるための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
7	7:患者にどのような治療、処置を行うかを説明するための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
8	8:患者に対してすべきこと、してはいけないことをアドバイスするための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
9	9:患者への歯ブラシ指導のための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
10	10:患者からの質問対応や質問を患者に行うための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
11	既習箇所の復習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
12	11:抜歯する患者へアドバイスするための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
13	12.患者に薬について説明し、薬局への指示を与えるための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
14	13.支払先、治療費、歯科用製品の価格の説明のための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。（1時間程度）					
15	14. 歯科衛生士の仕事に必要なもの、歯科衛生士の典型的な一日についての会話練習 / 試験について				試験のために準備をし、疑問点は質問すること。（学修時間は各自に任せる）					
教科書	『2週間で英語耳 歯科衛生士のためのListening Skills CD付』C.S.Langham・田嶋倫雄著、医歯薬出版株式会社									
参考文献										
備考	各ユニットごとに重要な表現が出てくるのでその都度暗記をし、ペアワークで確認し合う。授業の進行状況によってシラバスを変更することもある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-04					
	●										
科目名	歯周療法学					単位認定者	梶川 哲宏		評価の方法	試験(筆記)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	受講態度		30 %	
						授業時間数	30 時間				
				授業形態	講義	授業回数	15 回				
授業の概要	歯周疾患が全身状態に影響することが明らかとなり、超高齢社会を迎え、歯周疾患の治療と予防のニーズはますます高まっている。歯科衛生士として治療と予防に積極的に参加介入するために、歯周疾患と歯周療法に関する基礎知識及び診療補助を行うために必要な基礎知識を修得する。										
到達目標	歯周疾患の分類及びプラークを主とする歯周疾患の原因について理解する。次に歯周疾患の診査法を学び、プラーク付着状態の診査、歯周ポケット測定、歯の動揺度の測定、X線写真読影、その他の診査を理解する。さらに歯周治療の流れ、歯周基本治療および歯周外科治療について内容を理解するとともに、歯科衛生士の果たす役割についても理解する。										
学修者への期待等	事前にテキストを熟読してくること。										
回	授業計画					準備学修					
1	歯周疾患の基礎知識Ⅰ 歯周病の概要を学ぶ。					教科書基礎編第1章「歯周病を理解するために」、臨床編第7章1.「歯周病の予防」を予習して来ること。(30分程度)					
2	歯周疾患の基礎知識Ⅱ 歯周組織の構造と機能を学ぶ。					教科書基礎編第2章「歯周組織の解剖・組織」、基礎編第3章「歯周組織の生理」を予習して来ること。(30分程度)					
3	歯周疾患の基礎知識Ⅲ 歯肉炎と歯周炎・その他の歯周疾患を理解する。					教科書基礎編第4章「歯周病の病理」、臨床編第4章「歯周病の分類と臨床的特徴ならびに対応」を予習して来ること。(30分程度)					
4	歯周疾患の基礎知識Ⅳ 歯周疾患の原因を学ぶ。					教科書臨床編第2章「歯周病のリスクファクター」を予習して来ること。(30分程度)					
5	歯周治療の実際Ⅰ 歯周治療の進め方と歯周疾患の診査（一般診査、歯周組織破壊の程度の診査、原因となる因子の診査）を学ぶ。					教科書臨床編第6章「歯周病の診察、検査、診断(疫学的指数の項目以外)」を予習して来て下さい。第6回も同内容をさらに学びます。(30分程度)					
6	歯周治療の実際Ⅱ 歯周疾患の診査（咬合の診査、画像診断、その他の診査）を学ぶ。					第5回に引き続き、教科書臨床編第6章「歯周病の診察、検査、診断(疫学的指数の項目以外)」を予習して来て下さい。(30分程度)					
7	歯周治療の実際Ⅳ 歯周基本治療とは何か？ 目的と効果、基本治療の内容と実際について学ぶ。					教科書臨床編第8章「歯周基本治療②プラークコントロール」を予習して来て下さい。(30分程度)					
8	歯周治療の実際Ⅴ スケーリング・ルートプレーニングについて学ぶ。					教科書臨床編第8章「歯周基本治療③スケーリング・ルートプレーニング⑤暫間固定 ⑥当面の咬合確保 ⑦咬合調整 ⑨習癖の改善」を予習して来て下さい。(30分程度)					
9	歯周治療の実際Ⅵ 歯周外科① ― 歯周外科治療の目的、分類について学ぶ。					教科書臨床編第10章「歯周外科治療 1. 総論 2. 各論 ②組織付着療法 ④切除療法」を予習して来て下さい。(30分程度)					
10	歯周治療の実際Ⅵ 歯周外科② ― 主な歯周外科手術の適応・術式について学ぶ。					教科書臨床編第10章「歯周外科治療 2. 各論 ③歯周組織再生療法」を予習して来て下さい。(30分程度)					
11	歯周治療の実際Ⅵ 歯周外科③ ― 歯周外科治療における準備、介助について学ぶ。					教科書臨床編第10章「歯周外科治療 2. 各論 ①歯周外科治療器具 ⑤歯周形成手術」を予習して来て下さい。(30分程度)					
12	歯周治療の実際Ⅵ 歯周外科④ ― 根分岐部病変、歯周一歯内病変について学ぶ。					教科書臨床編第11章「根分岐部病変の処置」、臨床編第4章⑤「歯周一歯内病変」を予習して来て下さい。(30分程度)					
13	歯周治療の実際Ⅶ 歯周治療としての口腔機能回復治療について学ぶ。					教科書臨床編第12章「口腔機能回復治療」、臨床編第13章「インプラント治療と周囲疾患」を予習して来て下さい。(30分程度)					
14	歯周治療の実際Ⅷ メインテナンスの重要性、時期、内容について学ぶ。					教科書臨床編第16章「メインテナンスとSPT」を予習して来て下さい。(30分程度)					
15	疫学とペリオドンタルメディシンについて学ぶ。					教科書臨床編第6章「疫学的指数」、臨床編第5章「ペリオドンタルメディシン」を予習して来て下さい。(30分程度)					
教科書	『歯科衛生士講座 歯周病学』沼部幸博・齋藤淳・梅田誠編集主幹 株式会社永末書店										
参考文献	『歯科衛生学シリーズ 歯周病学』全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社										
備考	講義の出席率が評価に反映される。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
歯科医師として特に歯周病に着目し、様々な症例を経験してきた。その実務経験を活かし、歯周療法学に関する具体的な授業を展開する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-05					
	●										
科目名	歯科補綴学					単位認定者	依田 信裕		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	受講態度		20 %	
						授業時間数	30 時間				
				授業形態	講義	授業回数	15 回				
授業の概要	歯科補綴治療とは、歯の欠損やそれに伴う周囲組織の変化を、人工材料で修復して、形態・諸機能を回復させ、さらに歯の喪失などにより二次的に生じる障害を予防するものである。本科目では、歯科補綴学の概要を理解する上で必要な基礎的事項を理解し、次いで種々の歯科補綴物についての理解を深める。										
到達目標	歯科補綴学、補綴歯科診療に際して歯科衛生士に求められる必要最少限の知識を修得する。										
学修者への期待等	超高齢社会の現在、歯の喪失による咀嚼障害についての認識が高まり、特に有床義歯などの歯科補綴治療に対する関心が高まっている。歯科衛生士にはこれらのニーズに応じた歯科補綴治療を行う上での適切な知識が必要とされる。そのために、教科書等による予習・復習を十分に行うことを望む。										
回	授業計画					準備学習					
1	歯科補綴学概論：意義と目的（歯科補綴治療とはどんな事をするのか、歯科治療全体における歯科補綴治療の役割。（歯科治療と医科治療の違い、歯科治療と社会生活とのかかわり））					予習として教科書の序章「咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴」、および1章「歯科補綴の概要」を読んでおいて下さい。（1時間程度）					
2	歯科補綴治療の基礎事項：歯列弓の形態とその対合関係：歯列弓、咬合彎曲、咬合平面、対合関係、歯科補綴治療で重要な基準平面					歯科補綴治療の最も基礎知識を学びます。覚えることが多いので、予習・復習して十分理解して下さい。（1時間程度）					
3	補綴歯科治療における検査・診断：医療面接と診察、画像検査、咬合と顎口腔機能の検査					歯科補綴によりどのように機能が回復しうるかは、なぜ補綴治療が必要なのか患者さんに説明する上で重要な事項ですので十分理解してください。（1時間程度）					
4	クラウン・ブリッジ①：クラウン治療の概要、ブリッジ治療の概要、CAD/CAMクラウン治療概要					クラウン・ブリッジは日常臨床において頻度の高い重要な治療の一つです。ここでは基本知識を中心に予習しましょう。（1時間程度）					
5	クラウン・ブリッジ②：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助					クラウン・ブリッジ治療の流れ、各治療段階において準備する器材を覚えることは歯科衛生士業務として重要です。（1時間程度）					
6	クラウン・ブリッジ③：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助、クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応					クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助、クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応は臨床において重要です。教科書の該当箇所を予習してください。（1時間程度）					
7	遠隔【オンデマンド】全部床義歯①：全部床義歯治療の概要、全部床義歯治療の流れと診療の補助					全部床義歯は、歯科補綴学において「咬合」を学ぶ上で大切な事項が多く存在します。まずは基本知識・治療の流れについて予習しましょう。（1時間程度）					
8	全部床義歯②：全部床義歯の装着、患者への説明と指導、全部床義歯治療に伴うトラブルとその対応					全部床義歯装着後はしっかりとメンテナンスすることが重要です。患者への説明と指導、全部床義歯治療に伴うトラブルとその対応について予習してください。（1時間程度）					
9	部分床義歯①：部分床義歯治療の概要、部分床義歯治療の流れと診療の補助					部分床義歯治療は、適用範囲が広く、高頻度治療です。治療の流れは複雑ですので十分に教科書を予習してください。（1時間程度）					
10	部分床義歯②：部分床義歯の装着、患者への説明と指導、部分床義歯治療に伴うトラブルとその対応					部分床義歯装着後もメンテナンスが重要です。また、治療後のトラブルとその対応も複雑ですので、しっかりと予習してください。（1時間程度）					
11	遠隔【オンデマンド】インプラント①：インプラント治療の概要、インプラント治療の流れと診療の補助					インプラント治療は補綴治療の一選択肢として確立された方法です。その概要や治療の流れについて教科書をしっかり予習してください。（1時間程度）					
12	インプラント②：インプラント治療の流れと診療の補助、上下無歯顎症例に対するインプラント治療、インプラント治療に伴うトラブルとその対応					インプラント治療は様々な欠損形態に応用可能です。また、高額治療もあるので、治療後のトラブル対応は他の治療に比較して重要度が高いです。良く予習しましょう。（1時間程度）					
13	インプラント③：インプラントのメンテナンス、天然歯との相違、使用するべき器材、症例供覧					インプラント治療後のメンテナンスは歯科衛生士として重要な業務の一つです。生物学的な基礎知識をしっかりと予習してください。（1時間程度）					
14	特殊な口腔内装置を用いる治療：顎顔面補綴治療、構音・嚥下機能の補助治療、顎関節と歯ぎしりの治療、スポーツ外傷の予防、睡眠時無呼吸症候群の歯科治療、					これまで学んだ補綴装置以外にも、多くの補綴装置が存在します。ここでは様々な補綴装置の基礎を学びますので、教科書の該当箇所を事前に予習して下さい。（1時間程度）					
15	器材の管理：感染予防策、滅菌、消毒、洗浄、保管 歯科補綴学のまとめ：国家試験問題の傾向と対策					感染予防対策は全ての診療の基本ですので、復習し十分に理解してください。また、国家試験の動向を踏まえ、歯科補綴をまとめます。					
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社										
参考文献											
備考											

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

歯科医師として様々な症例を経験してきた。その実務経験を活かし、補綴歯科治療全般に関わる知識や技術に関して、実臨床に則した具体的な授業を展開する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-10				
	●									
科目名	障害者口腔保健学				単位 認定者	星 久美		評価 の方法	試験（筆記）	90 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	20 時間			
				授業形態	講義	授業回数	10 回			
授業の概要	身体的、知的あるいは精神的な障害のある人を対象とした口腔保健管理のあり方を学ぶ。 障害者の歯科治療では治療や指導及び患者管理に特別の配慮を必要とする。その際に必要な身体的、知的及び精神的特徴と特有の口腔機能障害について学ぶ。そして社会の一員である障害者の生活を知り、障害者の歯科医療について総合的に学修する。									
到達目標	①障害児・者の身体的、知的および精神的特徴と歯科的特徴を理解し、歯科保健医療の留意点を説明できる。 ②障害児・者の摂食・嚥下障害とリハビリテーションについて説明できる。									
学修者への期待等	各専門分野で学んだ知識を展開していく科目であるため、各回の授業内容に関連する既習他科目の学修項目を復習した上で授業を受講することを望む。									
回	授業計画					準備学修				
1	障害の概念及び地域における障害者歯科					教科書 第1章 障害の概念、第7章 地域における障害者歯科を事前に自学自習すること。（1時間程度）				
2	歯科医療で特別な支援が必要な疾患Ⅰ 精神発達・心理的発達と行動障害・運動障害（神経・筋系疾患）					教科書 第2章 歯科医療で特別な支援が必要な疾患を事前に自学自習すること。（1時間程度）				
3	歯科医療で特別な支援が必要な疾患Ⅱ 感覚障害・音声言語障害・精神および行動の障害					前回までの復習をして授業に臨むこと。 （1時間程度）				
4	歯科医療で特別な支援が必要な疾患Ⅲ 脳神経障害・口腔内に特徴のある疾患					前回までの復習をして授業に臨むこと。 （1時間程度）				
5	障害者の歯科医療と行動調整 コミュニケーションの方法及び行動療法（行動変容法）					教科書 第3章 障害者の歯科医療と行動調整を事前に自学自習すること。（2時間程度）				
6	障害者の歯科医療と行動調整 コミュニケーションの方法及び行動療法（行動変容法） 体動のコントロール					前回までの復習をして授業に臨むこと。 （1時間程度）				
7	障害者の歯科医療と行動調整 薬物的行動調整 障害者歯科における歯科衛生過程 リスク評価と安全管理					前回の復習及び教科書 第5章 リスク評価と安全管理を事前に自学自習すること。（1時間程度）				
8	健康支援と口腔衛生管理 介助者が行う口腔のケアへの支援、専門的口腔ケア 特別な配慮が必要な患者への口腔衛生管理					教科書 第4章 健康支援と口腔衛生管理、第8章 障害歯科における歯科衛生過程を事前に自学自習すること。（1時間程度）				
9	障害児・者の摂食・嚥下リハビリテーション 摂食・嚥下障害と口腔管理、栄養管理、評価法					教科書 第6章 摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割を事前に自学自習すること。（1時間程度）				
10	障害児・者の摂食・嚥下リハビリテーション 摂食機能療法、小児期の摂食・嚥下障害への対処法					前回までの復習をして授業に臨むこと。 （1時間程度）				
教科書	『最新 歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	『スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版』日本障害者歯科学会編、医歯薬出版株式会社 『小児の摂食嚥下リハビリテーション 第2版』田角勝・向井美恵編著、医歯薬出版株式会社									
備考										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

障がい者歯科治療に従事し、歯科医師として様々な症例を経験してきた。その実務経験を活かし、障害者口腔保健学に関して具体的な授業を展開する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-11				
	●									
科目名	歯科放射線学				単位認定者	飯久保 正弘		評価の方法	試験（筆記）	90 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	エックス線の性質を理解し、歯科医療における正しいエックス線の利用法と歯科衛生士が果たす役割を認識する。エックス線診断の基本を学び、基本的な病態診断の技術を習得するとともに、放射線の生理学的影響やエックス線の性質、撮影法について、理解を深める。									
到達目標	エックス線の性質を理解し、歯科医療における正しいエックス線の利用法と歯科衛生士が果たすべき役割を認識する。エックス線診断の基本を理解し、基本的な病態診断の技術を修得する。									
学修者への期待等	欠席せずに意欲を持って臨み、予習・復習をしっかりと行ってほしい。									
回	授業計画					準備学修			担当	
1	エックス線の基礎知識（講義）身近な放射線、放射線の種類、エックス線の発生、エックス線の性質					予習として「放射線」という言葉の意味を調べておく(30分程度)。			飯久保正弘	
2	歯科用エックス線の装置と写真（講義）歯科用エックス線装置の基本構造と特殊性、エックス線写真の成立、写真処理					前回の内容を復習して授業に臨むこと(30分程度)			飯久保正弘	
3	放射線防護（講義）放射線被曝、放射線の生体に対する作用、組織の放射線感受性、放射線障害					予習として放射線が人体に与える影響を調べておく(30分程度)。			飯久保正弘	
4	歯科用エックス線撮影法(1)（講義）口内撮影法、歯科衛生士の役割					前回の内容を復習して授業に臨むこと(30分程度)			飯久保正弘	
5	エックス線写真の読み方（講義）口内法正常像、口内法病態像					前回の内容を復習して授業に臨むこと(30分程度)			飯久保正弘	
6	歯科用エックス線撮影法(2)（講義）口外法、パノラマ撮影法、歯科衛生士の役割					前回の内容を復習して授業に臨むこと(30分程度)			飯久保正弘	
7	エックス線写真の読み方（講義）パノラマ写真正常像、パノラマ写真病態像					前回の内容を復習して授業に臨むこと(30分程度)			飯久保正弘	
8	歯科用X線撮影法（講義・演習）口内法（上顎前歯）					予習としてインスタントフィルムの現像方法を調べておく(30分程度)			小野寺 健 西條 佳奈 伊藤明日香	
9	歯科用X線撮影法（講義・演習）口内法（上顎臼歯）					予習として自動現像機の使用方法を調べておく(30分程度)			小野寺 健 西條 佳奈 伊藤明日香	
10	歯科用X線撮影法（講義・演習）口内法（下顎臼歯）					4～7回までの復習をして授業に臨むこと(30分程度)			小野寺 健 西條 佳奈 伊藤明日香	
11	歯科用X線撮影法（講義・演習）口翼法パノラマ					4～7回までの復習をして授業に臨むこと(30分程度)			小野寺 健 西條 佳奈 伊藤明日香	
12	歯科用X線撮影法（講義・演習）咬合法					4～7回までの復習をして授業に臨むこと(30分程度)			小野寺 健 西條 佳奈 伊藤明日香	
13	歯科用X線撮影法（講義・演習）パノラマ					4～7回までの復習をして授業に臨むこと(30分程度)			小野寺 健 西條 佳奈 伊藤明日香	
14	写真読影と放射線治療（講義）自分の写真を見てみよう 口腔領域の放射線治療法と放射線治療患者の口腔ケア					予習として自分の写真をよく見ておく(30分程度)。			飯久保正弘	
15	最新の画像診断（講義）CT、MRI、超音波 など								飯久保正弘	
教科書	『歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 第3版』飯久保正弘ほか著、株式会社学建書院									
参考文献										
備考	1～7、14、15回目は遠隔講義(オンデマンド)で実施する。 8～13回は2クラスに分かれて実習室で授業を行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-03					
	●	●									
科目名	歯周病予防法（臨床基礎）				単位 認定者	伊藤 恵美		評価の方法	試験（筆記）	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	20 %	
						授業時間数	60 時間				
				授業形態	演習	授業回数	30 回				
授業の概要	「歯科予防処置法」で修得した知識と技術をもとに、歯周組織の健康像と病的変化を把握し、歯周病予防法の専門的な知識と技術および態度を修得する。その手技として各検査法、予防的歯石除去法、歯面研磨・歯面清掃の技術について、安全で適切な操作技術を模型上および相互実習で修得する。										
到達目標	歯周病予防法の基礎知識を理解し、基礎的な技術を修得する。										
学修者への期待等	1.身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2.欠席・欠課をしないよう意欲的に臨んでほしい。										
回	授業計画				準備学修				担当		
1	歯周治療における歯科衛生士の役割(歯周治療の流れ、PTC・PMTCの目的と実際)について相互実習説明(シラバス2～4回演習)				教本歯科予防処置論・歯科保健指導論P228「2. PTC、PMTC」について読んでおくこと。(45分程度)				伊藤 恵美		
2	歯周組織検査 歯石除去 相互演習(患者①) クラス別演習(プロービング、PTC、染め出し、再PTC)グループワーク				前回の授業の復習をして臨むこと。1年次の「歯科予防処置法」の実習記録を読んで復習しておくこと。(60分程度)				伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
3	歯周組織検査 歯石除去 相互演習(患者②) クラス別演習（プロービング、PTC、染め出し、再PTC)グループワーク								伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
4	歯周組織検査 歯石除去 相互演習(患者③) クラス別演習（プロービング、PTC、染め出し、再PTC)グループワーク								伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
5	シックルタイプスケーラーの基本操作 マネキン演習 歯周組織検査、エキスポローリング、SC 相互実習説明(シラバス6～11回目) クラス別演習				1年次の「歯科予防処置法」のスケーリング実習記録をよく読んで復習しておくこと。教本歯科予防処置論・歯科保健指導論Ⅲ編「1. 手用スケーラー」を読んでおくこと。(60分程度)				伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣		
6	シックルタイプスケーラーの基本操作 相互演習1（前歯①）上下術者交代 クラス別演習(歯周組織検査、エキスポローリング、SC、歯面研磨) グループワーク				前回までの授業内容を復習しておくこと。感染対策について確認しておくこと。(60分程度)				伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
7	シックルタイプスケーラーの基本操作 相互演習1（前歯②）上下術者交代 クラス別演習(歯周組織検査、エキスポローリング、SC、歯面研磨) グループワーク								伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
8	シックルタイプスケーラーの基本操作 相互演習1（前歯③）上下術者交代 クラス別演習(歯周組織検査、エキスポローリング、SC、歯面研磨) グループワーク								伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
9	シックルタイプスケーラーの基本操作 相互演習1（左右臼歯6・7①）上下術者交代 クラス別演習(歯周組織検査、エキスポローリング、SC、歯面研磨) グループワーク								伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
10	シックルタイプスケーラーの基本操作 相互演習1（左右臼歯6・7②）上下術者交代 クラス別演習(歯周組織検査、エキスポローリング、SC、歯面研磨) グループワーク								伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
11	シックルタイプスケーラーの基本操作 相互演習1（左右臼歯6・7③）上下術者交代 クラス別演習(歯周組織検査、エキスポローリング、SC、歯面研磨) グループワーク								伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
12	パワースケーラー（エアスケーラー）、歯面清掃器について クラス別演習				教本歯科予防処置論・歯科保健指導論Ⅲ編3章「エアスケーラー」を読んで、操作方法について復習しておくこと。教本歯科予防処置論・歯科保健指導論Ⅲ編3章「3. 歯面清掃器」についてよく読んでおくこと。(60分程度)				伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
13	パワースケーラー（エアスケーラー）、歯面清掃器の基本操作について クラス別演習								伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
14	パワースケーラー（エアスケーラーと超音波スケーラーの比較）、歯面清掃器の基本操作について クラス別演習								伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		
15	グレーシータイプキュレットの基本操作 講義 クラス別演習				教本歯科予防処置論・歯科保健指導論Ⅲ編3章「2. 手用スケーラー3) スケーラーの種類と操作方法(2)キュレット型スケーラー」をよく読んでおくこと。(45分程度)				伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣		

回	授業計画	準備学修	担当	
16	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習(前歯)クラス別演習	シラバス15回の授業の実習記録をよく読んでおくこと。 教本歯科予防処置論・歯科保健指導論Ⅲ編3章「2. 手用スクレーパー4) 部位別操作法」をよく読んでおくこと。(60分程度)	伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
17	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習(下顎臼歯)クラス別演習		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
18	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習(上顎臼歯)クラス別演習		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
19	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習(全顎)クラス別演習 次回相互実習説明		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
20	グレーシータイプキュレットの基本操作 (相互実習①②・マネキン実習③、相互実習②③・マネキン実習①) クラス別演習 グループワーク	前回の授業の復習をして臨むこと。(45分程度)	伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
21	グレーシータイプキュレットの基本操作 (相互実習①③、マネキン実習②、マネキン実習①②③) クラス別演習 グループワーク 次回相互実習説明		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
22	グレーシータイプキュレットの基本操作 相互実習(前歯)患者1人目 術者1班 上下術者交代 クラス別演習 グループワーク	シラバス2～21回目までの実習記録を振り返って実習に臨むこと。(45分程度)	伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
23	グレーシータイプキュレットの基本操作 相互実習(前歯)患者2人目 術者2班 上下術者交代 クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
24	グレーシータイプキュレットの基本操作 相互実習(前歯)患者3人目 術者3班 上下術者交代 クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
25	グレーシータイプキュレットの基本操作 相互実習(左側臼歯)患者1人目 術者1班 上下術者交代 クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
26	グレーシータイプキュレットの基本操作 相互実習(左側臼歯)患者2人目 術者2班 上下術者交代 クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
27	グレーシータイプキュレットの基本操作 相互実習(左側臼歯)患者3人目 術者3班 上下術者交代 クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
28	グレーシータイプキュレットの基本操作 相互実習(右側臼歯)患者1人目 上下術者交代 クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
29	グレーシータイプキュレットの基本操作 相互実習(右側臼歯)患者2人目 術者2班 上下術者交代 クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
30	グレーシータイプキュレットの基本操作 相互実習(右側臼歯)患者3人目 術者3班 上下術者交代 クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣	
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社			
参考文献	『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社			
備考	シラバス1回目は合同、2～30回目はクラス別で授業を行う。2～30回目は8階演習室。 授業の冒頭で目標を示し授業の最後にまとめを行う。実習レポート・課題は提出期限厳守。添削後、返却する。 授業の進捗状況により順番が前後することがある。			

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所で勤務経験のある教員が、歯周病予防法の専門的知識と技術を指導する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-17				
	●	●								
科目名	臨床検査法				単位 認定者	花 淵 静 伊藤 明日香		評 価 の 方 法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	10 %
						授業時間数	20 時間		受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業回数	10 回			
授業の概要	歯科衛生士が、医療現場において臨床検査の基本的知識と、病気をもつ患者に対応するうえでの必要な基本的な態度と技能を修得する。また、人の病態を臨床検査というエビデンスをもって知り、歯科衛生士としてその臨床データという根拠をもって歯科衛生診断、治療、メンテナンスに関わることの重要性について講義、演習を通して理解する。									
到達目標	臨床検査の基礎知識を学び、各種検査法とその正常値・異常値から患者の身体症状を理解する。									
学修者への期待等	授業は意欲的にのぞみ、提出物は期日を守り提出すること。									
回	授業計画					準備学修			担当	
1	【遠隔(オンデマンド)】 1章 臨床検査とは 臨床検査の概要 臨床検査の種類、臨床検査と歯科衛生士の役割					Ⅶ「臨床検査」執筆の序、第1章 臨床検査とはを 読んで授業に臨んでください。(40分程度)			花 淵 静	
2	2章 生体検査 生体検査(生理機能検査)について					第2章生体検査(生理機能検査)を読んで授業に 臨んでください。(40分程度)			伊藤 明日香	
3	生体検査(各種検査:体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度 測定)演習(1) (グループA:体温測定検討演習 グループB:各種血圧測定 グループC:状 況別脈拍・血中酸素飽和度測定)					シラバス2回目の授業資料、授業記録を読み授業 に臨んでください。(30分程度)			伊藤 明日香 花 淵 静	
4	生体検査(各種検査:体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度 測定)演習(2) ①(グループA:状況別脈拍・血中酸素飽和度測定 グループB:体温測定検 討演習 グループC:各種血圧測定) ②(グループA:各種血圧測定 グループB:状況別脈拍・血中酸素飽和度測 定 グループC状況別脈拍・血中酸素飽和度測定)					シラバス2回目の授業資料、授業記録を読み授業 に臨んでください。(30分程度)			伊藤 明日香 花 淵 静	
5	【遠隔(オンデマンド)】 3章 血液学的検査／7章 糖尿病の検査 /6章 腎機能 の検査					第3章 血液学的検査／7章 糖尿病の検査／6 章腎機能の検査を読んで授業に臨んでください。 (40分程度)			花 淵 静	
6	検体検査(各種検査:尿検査、自己血糖測定)演習					シラバス5回目の授業資料、授業記録を読み授業 に臨んで下さい。(30分程度)			花 淵 静 伊藤 明日香	
7	【遠隔(オンデマンド)】 4章 感染症の検査／9章 免疫・血清学的検査					第4章 感染症の検査、9章免疫・血清学的検査を 読んで授業に臨んでください。(40分程度)			花 淵 静	
8	12章 口腔領域の臨床検査(1):口臭検査・味覚検査／カ ンジタ症、シェーグレン症候群の臨床検査 演習					12章 口腔領域の臨床検査を読んで授業に臨ん でください(30分程度)			花 淵 静 伊藤 明日香	
9	12章 口腔領域の臨床検査(2):口腔機能低下症に関す る検査内容について 演習								伊藤 明日香 花 淵 静	
10	12章 口腔領域の臨床検査(3):摂食・嚥下スクリーニング 検査内容について 演習								伊藤 明日香 花 淵 静	
教科書	『歯科衛生学シリーズ 臨床検査』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	『歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
備考	授業内課題については添削後返却し、授業内で解説する。シラバス1・5・7回目は、遠隔(オンデマンド)による講義／2回目 は、合同講義、他、3・4・6・8・9・10回目は、クラス別による講義・演習									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所で勤務経験のある教員が、病気をもつ患者に対する態度と技能および臨床検査の基礎知識を指導する。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング DH-0-HSC-01				
	●	●								
科目名	スポーツレクリエーション				単位 認定者	菅原 一昭		評価の方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		20 時間	
									授業回数	10 回
授業の概要	スポーツレクリエーションを通じて、集団活動での協調性、安全についての理解を深めるとともに、集団活動から全体の規律・態度を学ぶ。また、子どもから高齢者・障がい者に及ぶ幅広いライフステージでの心身の発育とその特徴を学修し、歯科保健活動の際の導入段階としてレクリエーションを楽しく活用できる能力を養う。更に、運動の楽しさや喜びを深く体験することを通して、心身ともに健康な生活が送れる習慣を身につける。									
到達目標	レクリエーション支援活動を通じて、幼児・児童、高齢者、障がい者に対する理解を深め、歯科保健活動において積極的にレクリエーション支援活動を取り入れる。また、自分自身でも生涯を通じて心身ともに健康を送れるような生活習慣が身につけること。									
学修者への期待等	幼児・児童・高齢者・障がい者に対するレクリエーション支援の方法を学習し、実践すること。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業ガイダンス(講義の概要・バス・体育館説明・評価方法等) レクリエーション支援に関わる諸理論 レクリエーションの意義と役割 アイスブレイキング、ホスピタリティ理論 (地下ラウンジ)					【事前】 各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。(概ね30分) 【事後】 配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。(概ね30分)				
2	歯科保健活動での幼児・児童に対するレクリエーション理解 身近にある知育のアイディア 知育の効果を上げるプランニング等 (地下ラウンジ)									
3	歯科保健活動での高齢者に対するレクリエーション理解 楽しむためのサポートポイント レクリエーション支援の組み立て方、展開方法 (地下ラウンジ)									
4	歯科保健活動での幼児・児童を対象とした計画・実施の流れ 企画書作成、グループ発表 (地下ラウンジ)									
5	高齢者に対するレクリエーション支援活動 高齢者の介護予防支援におけるスポーツレクリエーションの取り組み事例から学ぶ									
6	(体育館)									
7	障がい者に対するレクリエーション支援活動 障がい者の自立支援におけるスポーツレクリエーションの取り組み事例から学ぶ									
8	(体育館)									
9	生涯に繋がるスポーツレクリエーション活動 多様なスポーツレクリエーションの実践事例から学ぶ									
10	総括 (体育館)									
教科書	なし									
参考文献	必要に応じて文献・資料を用意する。									
備考	2クラスに分かれて授業を行う。5、6回目は合同で授業を行う。 1～4回目は、地下ラウンジにて実施。(座席については、初回時スライドに投影いたしますので、各自確認すること)。 5～10回目は、体育館にて実施。(上下運動着、上靴持参)。土足厳禁。バス内での飲食禁止。事前に着替えてくること。 授業内課題は、添削後に授業内でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-05				
		●								
科目名	歯周病予防法（臨床応用）				単位 認定者	伊藤 恵美		評価 の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	40 時間			
					授業形態	演習	授業回数		20 回	
授業の概要	「歯科予防処置法」「歯周病予防法（臨床基礎）」で学んだ、歯周病予防法の知識・技術をもとに、歯科衛生士としての専門知識・技術を修得し、相互演習を通して実践する力と態度を学ぶ。また、歯と口腔の健康を維持・増進のために継続的なメンテナンスの必要性を理解し、歯周管理の実践の手技を修得する。									
到達目標	歯周病予防と歯周管理の基礎知識を理解し、症例に合わせた実践の手技を修得する。									
学修者への 期待等	1.身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2.欠席・欠課をしないよう意欲的臨んでほしい。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	歯周治療における歯科衛生士の役割 （歯周治療の流れと歯科衛生士業務） メンテナンス、SPTの実際（歯周組織検査） 業務記録の書き方				教本歯科予防処置論・歯科保健指導論Ⅱ編「③歯周病」をよく読んでおくこと。（45分程度）				伊藤 恵美	
2	歯周組織検査演習（患者1人目、2人目） グループワーク				歯周組織検査の復習をしておくこと。（45分程度） ・プロービングの基本操作 ・歯の動揺				伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣	
3	歯周組織検査演習（患者3人目） グループワーク 相互実習説明（流れ、記録の記入について）								伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣	
4	歯周組織検査、PTC演習（手用スケーラー、超音波スケーラー、歯面研磨）グループワーク（患者1人目）				前回までの実習記録をよく読んでおくこと。（45分程度）				伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣	
5	歯周組織検査、PTC演習（手用スケーラー、超音波スケーラー、歯面研磨）グループワーク（患者2人目）								伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣	
6	歯周組織検査、PTC演習（手用スケーラー、超音波スケーラー、歯面研磨）グループワーク（患者3人目）								伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣	
7	手用スケーラーを用いたスケーリング演習（相互演習①②・マネキン実習③、相互演習②③・マネキン実習①） クラス別演習 グループワーク				手用スケーラーの基本操作について復習をしておくこと。（45分程度）				伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣	
8	手用スケーラーを用いたスケーリング演習（相互演習①③、マネキン実習②、マネキン実習①②③） クラス別演習 グループワーク 次回相互実習説明								伊藤 恵美 武山 真奈美	
9	PTC相互演習 患者1人目（上下 術者交代） クラス別演習 グループワーク				シラバス4～6回目の実習記録をよく読んでおくこと。（30分程度）				伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣	
10	PTC相互演習 患者2人目（上下 術者交代） クラス別演習 グループワーク								伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣	
11	PTC相互演習 患者3人目（上下 術者交代） クラス別演習 グループワーク								伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣	

回	授業計画	準備学修	担当
12	PTC相互演習 患者3人目（上下 術者交代） クラス別演習 グループワーク	シラバス4～6回目の実習記録をよく読んでおくこと。（30分程度）	伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣
13	SRP後の評価と処置 演習1 ①イリゲーション ②EPP ③超音波スケーラー クラス別演習 グループワーク	教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学で、永久歯の形態学的特徴を復習しておくこと。（45分程度） 教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論P202「5）イリゲーション（洗浄）」、P218「7）（3）歯周ポケット内のイリゲーション（洗浄）」をよく読んでおくこと。 パワースケーラーの基本操作について復習しておくこと。（60分程度）	伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣
14	SRP後の評価と処置 演習2 ①イリゲーション ②EPP ③超音波スケーラー クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣
15	SRP後の評価と処置 演習3 ①イリゲーション ②EPP ③超音波スケーラー クラス別演習 グループワーク		伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣
16	手用スケーラー シャープニング クラス別演習	教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論P202「6）シャープニング」をよく読んでおくこと。（45分程度）	伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣
17	SRP 相互演習3 患者1人目（上下 術者交代） クラス別演習 評価 グループワーク	前回までの実習記録をよく読んで復習しておくこと。（60分程度）	伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣
18	SRP 相互演習3 患者2人目（上下 術者交代） クラス別演習 評価 グループワーク		伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣
19	SRP 相互演習3 患者3人目（上下 術者交代） クラス別演習 評価 グループワーク		伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣
20	手用スケーラーの固定法（口腔外固定、保持固定） クラス別演習 グループワーク	教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論P189「4）固定」をよく読んでおくこと。（30分程度）	伊藤 恵美 武山 真奈美 北村 麻衣
教科書	『歯科衛生士シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
参考文献	『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
備考	シラバス1・11回目は合同講義、2～10、12～20回目は実習室でクラス別演習を行う。16回目は7階演習室、2～6、8～20回目は8階演習室。 授業の冒頭で目標を示し授業の最後にまとめを行う。演習レポート・課題は提出期限厳守。添削後、返却する。 授業の進捗状況により順番が前後することがある。		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

歯科診療所で勤務経験のある教員が、歯周病予防法の専門的知識と技術を指導する。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング DH-2-DHP-09					
		●	●								
科目名	保健指導演習Ⅲ（臨床総合）					単位 認定者	佐藤陽子 大宮由布子 伊藤明日香		評価 の 方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3年	開講時期	通年	単位数	2 単位	受講態度		10 %	
						授業時間数	60 時間	授業内課題		10 %	
					授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	「保健指導論」、「保健指導演習Ⅰ（臨床基礎）」、「保健指導演習Ⅱ（臨床応用）」を通して学んだ内容について、歯科衛生過程を用いて、実践する能力を身につける。										
到達目標	①各症例または事例における問題発見、解決方法を選択できる能力と口腔健康管理方法の知識、技術、態度を修得する。 ②歯科衛生過程に基づいた情報収集、ケア計画立案を行い、対象者に合わせた介入ができる。 ③計画内容および介入について評価・検討ができる。 ④口腔清掃指導の意義を理解し、継続した歯科衛生介入ができる。										
学修者への期待等	欠席せずに意欲を持って臨み、予習・復習をしっかりと行い受講して欲しい。										
回	授業計画					準備学修				担当	
1	口腔衛生用具検討実習Ⅰ（歯ブラシ、補助清掃用具）					Ⅲ編 4章歯科衛生介入としての歯科保健指導P268～P280①口腔衛生管理に関わる指導 2年次に学修した内容を復習して授業に臨むこと。（40分程度）				佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
2	口腔衛生用具検討実習Ⅱ（症例検討、口腔衛生用具の選択、TBI）					前時に学修した内容を復習して授業に臨むこと。（30分程度）				佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
3	歯科衛生過程の展開					歯科予防処置・歯科保健指導論 教科書Ⅲ編2章P121～と2年次の歯科衛生過程演習を復習して授業に臨むこと。（30分程度）				佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
4	歯科衛生過程 事例検討					前時の講義内容および歯科予防処置・歯科保健指導論教科書Ⅲ編2章P121～を復習して授業に臨むこと。（30分程度）				佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
5	歯科衛生過程演習Ⅰ 1・3合同実習概要説明									大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香	
6	歯科衛生過程演習Ⅰ 1・3年生合同実習 相互演習(1)/(術者1人目)									大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子	
7	歯科衛生過程演習Ⅰ 1・3年生合同実習 相互演習(2)/(術者2人目)									大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子	
8	歯科衛生過程演習Ⅰ 1・3年生合同実習 相互演習(3)/(術者3人目)									大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子	
9	歯科衛生過程演習Ⅰ 1・3年生合同実習 相互演習(4)/(術者4人目)									大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子	
10	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3年生合同実習 相互演習(5)/(術者1人目)									大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子	
11	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3年生合同実習 相互演習(6)/(術者2人目)									大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子	
12	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3年生合同実習 相互演習(7)/(術者3人目)					歯科衛生過程1で実践した内容の見直しを行い、授業に臨むこと。（40分程度）				大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子	
13	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3年生合同実習 相互演習(8)/(術者4人目)									大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子	
14	歯科衛生過程演習Ⅱ （口腔衛生指導の評価） プレゼンテーション演習(1)/Aグループ									歯科衛生過程演習Ⅱで実施した内容についてプレゼンテーションできる準備をして授業に臨むこと。（60分程度）	
15	歯科衛生過程演習Ⅱ （口腔衛生指導の評価） プレゼンテーション演習(2)/Bグループ					佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子					

回	授業計画	準備学修	担当
16	歯科衛生過程演習Ⅱ (口腔衛生指導の評価) プレゼンテーション演習(3)/Cグループ	歯科衛生過程演習Ⅱで実施した内容についてプレゼンテーションできる準備をして授業に臨むこと。(60分程度)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
17	在宅訪問口腔衛生管理 (口腔清掃方法、清掃用具の選択他)	高齢者教科書Ⅳ編 3章 要介護高齢者への口腔ケア P138～151を復習し授業に臨むこと。(30分程度)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
18	在宅訪問口腔衛生管理 相互実習		佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
19	口腔健康管理 口腔機能低下症 事例検討・演習	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書P153～P157を読んでおくこと。P360～P371を復習して授業に臨むこと。(30分程度)	大宮 由布子
20	口腔健康管理 生活習慣の指導 ①非感染性疾患 ②禁煙支援 事例検討	歯科予防処置・歯科保健指導論教科書P289～P301を読んでおくこと。(30分程度)	大宮 由布子
21	地域歯科保健活動 災害時の歯科保健 大規模災害時の保健医療対策	保健生態学教科書P317～324、保健指導 Ⅲ編1章4健康危機管理P387～393 8章 災害時の歯科保健を読んでおくこと。(40分程度)	大宮 由布子 阿部 夕
22	地域保健活動 災害時の歯科保健 グループワーク		大宮 由布子 阿部 夕
23	症例検討 X線読影 グループワーク	2年次の臨床科目(放射線学、歯周病学他)を復習しておくこと。(40分程度)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
24	歯科衛生過程演習Ⅲ 客観的臨床能力の判断 概要説明	3年間で学習した内容を復習して臨んでください。(30分程度)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
25	歯科衛生過程演習Ⅲ 客観的臨床能力の判断 相互演習(9)/術者1人目		佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
26	歯科衛生過程演習Ⅲ 客観的臨床能力の判断 相互演習(10)/術者2人目		佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
27	歯科衛生過程演習Ⅲ 客観的臨床能力の判断 相互演習(11)/術者3人目		佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
28	口腔衛生管理 (PCR、TBI) 相互演習(12)/術者1人目	これまでの授業および2年次で学修した内容を復習し、授業に臨むこと。(30分程度)	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
29	口腔衛生管理 (PCR、TBI) 相互演習(14)/術者2人目		大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
30	口腔衛生管理 (PCR、TBI) 相互演習(15)/術者3人目		大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』佐藤陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社		
参考文献	授業内で適宜紹介する。		
備考	シラバス1、2、17、18回目はクラス別で演習(7階) シラバス3～5、14～16、19～24回目は合同で授業。 シラバス6～13、25～30回目はクラス別実習(8階) レポートおよび課題は添削後、授業内で総括する。 1・3年生合同実習の回は、1年生の一部が正課外にて参加する。		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所で勤務実績のある教員が、各症例に対して具体的な口腔衛生管理および口腔機能管理について実践的技術を指導する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-11				
		●								
科目名	口腔リハビリテーション演習				単位認定者	佐藤 陽子		評価の方法	試験(筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	20 時間			
				授業形態	演習	授業回数	10 回			
授業の概要	摂食・嚥下のしくみとそれにかかわる障害についての歯科衛生士としての役割を理解する。口腔の問題・障害を克服する口腔リハビリテーションについて障害別に学び、ディスカッションを交えてプログラムを立案する。さらに相互演習を通じて技術の修得に努める。									
到達目標	口腔リハビリテーションチームの中での歯科衛生士の役割を理解する。									
学修者への期待等	口腔リハビリテーションは、患者様の健康とQOLに密接に関わる領域であり、チームの一員として患者様の食に関わります。真摯な態度で学んでいただくことを希望します。									
回	授業計画					準備学修			担当	
1	摂食嚥下障害に対する訓練計画 症例検討準備					教科書Chapter11摂食嚥下訓練を読んでおくこと。(30分程度)			佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
2	摂食嚥下障害の対応1 症例検討					前回の授業の内容を復習しておくこと。			佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 渡邊 弘人 鈴木 将太	
3	摂食嚥下障害の対応2 症例発表					前回の授業の内容を復習しておくこと。			佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 渡邊 弘人 鈴木 将太	
4	歯科衛生士の行う専門的な口腔ケア1 リスクマネジメント概要					教科書Chapter7リスクマネジメントを読んでおくこと。(30分程度)			佐藤 陽子 伊藤 明日香	
5	歯科衛生士の行う専門的な口腔ケア2 吸引器の取り扱い相互実習					教科書Chapter10摂食嚥下リハビリテーションと口腔衛生管理を読んでおくこと。(30分程度)			佐藤 陽子 伊藤 明日香	
6	歯科衛生士の行う専門的な口腔ケア3 臥床時の口腔ケア相互実習					前回の授業の内容を復習しておくこと。			佐藤 陽子 伊藤 明日香	
7	摂食嚥下障害に対する直接訓練 食介助					教科書Chapter11-3摂食訓練(直接訓練)の選択と実施を読んでおくこと。(30分程度)			佐藤 陽子 伊藤 明日香	
8	急性期・回復期の摂食嚥下リハビリテーション「歯科衛生士の役割」					前回の授業内容を復習しておくこと。(30分程度)			児玉 俊恵	
9	摂食嚥下リハビリテーションへの取り組み(症例:小児障害児)					教科書Chapter12歯科衛生士が行う摂食嚥下リハビリテーションの基本を読んでおくこと。(30分程度)			佐藤 陽子	
10	摂食嚥下リハビリテーションへの取り組み(総括)					前回までの授業内容を復習しておくこと。(30分程度)			佐藤 陽子	
教科書	『歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版』日本歯科衛生士会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	『口から食べる-嚥下障害Q&A』藤島一郎著、中央法規出版株式会社									
備考	シラバス1、4、7～10回は教室で合同講義。シラバス2、3回は言語聴覚学科「言語聴覚障害学総論」と合同授業。シラバス5、6回は連続して言語聴覚学科演習室にて実習。レポートおよび課題は添削後、授業内で総括する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-18					
	●	●									
科目名	救急法・救急蘇生法				単位認定者	下田 元 菅原 一昭		評価の方法	試験（筆記）	35	%
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		試験（実技）	65	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	救急処置と蘇生法の基礎を学び、歯科医療スタッフの一員として現場で応用できるようになることを目的とする。										
到達目標	歯科の臨床現場で、緊急時、正しい救急処置と心肺蘇生法を行うことができるようにする。										
学修者への期待等	教科書などで関連内容を熟読し復習してください。歯科口腔外科臨床で患者さんの安心、安全な全身管理を行うための重要な科目です。身近な人が突然倒れたときに、救急救命の知識があれば命を救うことができます。無知であれば、救急車が到着するまでなすすべがなく救うことができません。後で後悔しない為にも、救急救命法を学んで頂きたい。										
回	授業計画					準備学修					担当
1	ガイダンス(評価方法。受講するにあたっての心構え) 応急手当の重要性。(目的・必要性・救命処置・心肺蘇生)					【事後】本時内容の復習(概ね1時間)をし、次回に備える。					菅原一昭
2	応急手当の重要性。救命の処置(心肺蘇生・AEDについて)					【事後】本時内容の復習(概ね1時間)をし、次回に備える。					菅原一昭
3	特殊な傷病とその応急手当(歯の損傷・溺水・熱中症・感電 アキレス腱断裂・RICE処置)、気道異物除去(成人)					【事後】本時内容の復習(概ね1時間)をし、次回に備える。					菅原一昭
4	気道異物除去(乳児)、搬送法・保温法・応急担架					【事後】本時内容の復習(概ね1時間)をし、次回に備える。					菅原一昭
5	心肺蘇生法について、胸骨圧迫(成人)					【事後】本時内容の復習(概ね1時間)をし、次回に備える。					菅原一昭
6	止血法、心肺蘇生法(成人)の手順					【事後】本時内容の復習(概ね1時間)をし、次回に備える。					菅原一昭
7	子どもの応急手当(止血法)					【事後】本時内容の復習(概ね1時間)をし、次回に備える。					菅原一昭
8	心肺蘇生法の実技(成人) 乳幼児の一次救命処置(PBLS)の手順					【事後】本時内容の復習(概ね1時間)をし、次回に備える。					菅原一昭
9	心肺蘇生法の実技(成人) 実技、AED					【事前】実技効果確認に備えて、理解してくる(概ね1時間)。					菅原一昭
10	実技効果確認、総括					【事前】実技効果確認に備えて、理解してくる(概ね1時間)。					菅原一昭
11	バイタルサインの評価、心肺蘇生法(BLS)の知識・手技の修得					教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間)					下田 元
12	歯科口腔外科診療時の局所的・全身的偶発症、その症状、重症度評価、救急初期対処法、全身管理の修得					教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間)					下田 元
13	全身的基礎疾患を有する歯科口腔外科患者の病態評価、全身管理、発症時の緊急処置、救急対処法の修得					教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間)					下田 元
14	局所麻酔法、精神鎮静法、全身麻酔法、および、周術期患者管理、周術期合併症と緊急処置、救急対処法の修得					教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間)					下田 元
15	インシデント・アクシデント報告、医療事故と法的責任、歯科口腔外科患者の全身管理で歯科衛生士に期待される役割についての理解					教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間)					下田 元
教科書	『歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 菅原担当分はテキストは特に指定せず、随時プリントをこちらで準備する。										
参考文献	特に指定しない										
備考	2～10回は2クラスに分かれて授業を行う。 下田：講義ごとにその講義内容に関連する資料を配布します。知識の整理、復習、応用に繋げる習慣を身に付けてください。 菅原：◎実技時、服装は白衣。ナースシューズ。髪は後ろで結ぶ。必要に応じ授業内容に関連する資料を配布します。(菅原担当分はクラス別で授業を実施する)◎授業で理解できなかったこと等の質問に関しては本館2階職員室(菅原)で対応する。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

【下田】 歯科麻酔専門医、日本蘇生学会指導医として、歯科口腔外科周術期の麻酔科臨床(全身麻酔管理・静脈内鎮静管理など)、救急処置、および全身的基礎疾患患者の全身管理・緊急処置などに携わってきた。その多様な臨床症例の実務経験を基盤に、救急法・救急蘇生法に関する講義を系統的に分かりやすく実践する。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング				
		●	●	●		DH-2-CLT-12				
科目名	臨地実習指導（臨床総合）				単位 認定者	花 洩 静		評 価 の 方 法	レポート	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3 年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	臨地実習Ⅲ（臨床総合）の事前・事後指導を行う。事前指導では臨地実習Ⅱ（臨床応用）を踏まえ、社会人となる上で必要となる実践力、研究力の育成を目指す。事後指導では実習の反省を踏まえ、自己の課題を見出しながら、必要となる事柄の修得のための学びを深める。									
到達目標	臨地実習の目的および各実習施設の特徴や対象者を理解し、それぞれに応じた行動、技術の実践ができる。また、事前課題や実習の反省を踏まえ自己の課題を見出し解決できる能力を身につける。									
学修者への 期待等	集団指導においては、各実習施設や対象者を理解し、それぞれに合わせた指導内容の計画と実践ができること。臨床においては、様々な患者様への対応とスタッフとの連携がとれるコミュニケーション能力を身につけること。実習メンバーとのコミュニケーションを円滑にし、事前課題および準備や計画を怠らず、真面目に取り組むこと。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	3年生臨地実習の目的・概要				自身が選択した実習施設の特色・概要を調べておくこと。 (概ね60分)				花 洩 静	
2	ホスピタリティとは ～ホスピタリティマインドの発揮～				ホスピタリティについて詳しく調べておくこと。(概ね30分)				花 洩 静 今井 恵美子	
3	『症例を診る』とは				歯科衛生学シリーズ『口腔外科学・歯科麻酔』、『保存修復・歯内療法』『歯科補綴』『歯科矯正』の教科書より自身が2年次の臨地実習で診た症例をまとめること。(概ね60分)				花 洩 静	
4	臨地実習Ⅰ ケースプレゼンテーション大会				実習時の1症例についてプレゼンテーションの準備をしておくこと。(概ね120分)				大宮由布子/花洩静 武山真奈美/西條佳奈 伊藤明日香	
5										
6	臨地実習Ⅰにおける振り返り【実習評価から自分の実習態度を振り返る】				実習日誌を事前にみて自己の振り返りをしておくこと。(概ね30分)				花 洩 静	
7	臨地実習Ⅱの実習目標の設定				シラバス6回目の実習評価をうけ臨地実習Ⅱに臨むための実習目標を設定しておくこと。(概ね60分)				花 洩 静	
8	臨地実習Ⅱ ケースプレゼンテーション大会				実習時の1症例についてプレゼンテーションの準備をしておくこと。(概ね120分)				大宮由布子/花洩静 武山真奈美/西條佳奈 伊藤明日香	
9										
10	臨地実習Ⅱにおける振り返り【実習評価から自分の実習態度を振り返る】				実習日誌を事前にみて自己の振り返りをしておくこと。(概ね30分)				花 洩 静	
11	臨地実習Ⅲの実習目標の設定				シラバス10回目の実習評価をうけ臨地実習Ⅲに臨むための実習目標を設定しておくこと。(概ね60分)				花 洩 静	
12	臨地実習Ⅲ①ケースプレゼンテーション大会				実習時の1症例についてプレゼンテーションの準備をしておくこと。(概ね120分)				大宮由布子/花洩静 武山真奈美/西條佳奈 伊藤明日香	
13	臨地実習Ⅲ②ケースプレゼンテーション大会 臨地実習Ⅲにおける振り返り 【実習評価から自らの実習態度を振り返る】									
14	上杉山通小学校 集団保健指導実習の目的および概要				『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』V編1章P396～P411を読んで授業に臨むこと。(概ね30分)				花 洩 静	
15	上杉山通小学校(グループワーク) 保健指導計画の立案									
教科書	歯科衛生学シリーズ 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』『歯科診療補助論』『歯科機器』『歯科材料』『口腔外科学・歯科麻酔』『臨床検査』『歯科補綴学』『歯科矯正学』『小児歯科学』『保存修復・歯内療法』『高齢者歯科学』『障害者歯科学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献										
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。 シラバス4・5回、8・9回、12・13回、14・15回は連続の授業とする。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

						科目ナンバリング DH-2-RDH-01				
学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力					
	●									
科目名	歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）				単位 認定者	小野寺 健		評価 の 方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
					授業時間数	30 時間				
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	歯科衛生の実践場面で遭遇する問題を自ら解決していくため、3年間で学んだ知識と技術を整理する。歯科衛生士として必要な総合的能力を修得することを目的とする。また、本教科では、臨床歯科につながる基礎的な知識と技術の整理も行う。									
到達目標	3年間で学んだ知識の総まとめを行う。									
学修者への期待等	教科書などによる予習・復習を行い、授業内容を十分に理解することを望む。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	遠隔【オンデマンド】 地域福祉保健（地域保健）1（総論のまとめ）				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 （1時間程度）				石河 理紗	
2	遠隔【オンデマンド】 地域福祉保健（地域保健）2（各論のまとめ）								石河 理紗	
3	遠隔【オンデマンド】 歯科放射線学1（総論のまとめ）				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 （1時間程度）				飯久保 正弘	
4	遠隔【オンデマンド】 歯科放射線学2（各論のまとめ）								飯久保 正弘	
5	栄養学1（総論のまとめ）				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 （1時間程度）				中村 吉孝	
6	病理学（まとめ）				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 （1時間程度）				小野寺 健	
7	う蝕予防法1（総論のまとめ）				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 （1時間程度）				鷺尾 純平	
8	栄養学2（各論のまとめ）				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 （1時間程度）				中村 吉孝	
9	薬理学1（総論のまとめ）				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 （1時間程度）				北村 麻衣	
10	う蝕予防法2（各論のまとめ）								鷺尾 純平	
11	薬理学2（各論のまとめ）								北村 麻衣	
12	社会福祉論1（総論のまとめ）				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 （1時間程度）				野口 美雪	
13	口腔リハビリテーション1（総論のまとめ）				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 （1時間程度）				中川 大介	
14	社会福祉論2（各論のまとめ）								野口 美雪	
15	口腔リハビリテーション2（各論のまとめ）								中川 大介	
教科書	『歯科衛生士国家試験ポイントチェック①人体の構造と機能／歯・口腔の構造と機能／疾病の成り立ち及び回復過程の促進 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック②歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック③歯科衛生士概論／臨床歯科医学 上 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック④臨床歯科医学 下 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック⑤歯科予防処置論／歯科保健指導論／歯科診療補助論 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編									
参考文献	適宜プリントを配布する。									
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）